



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

宇部の長生炭鉱と戦時中の朝鮮人労働者

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-04-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 李, 修京, 湯野, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/87636

誤認の訂正と補足について

「宇部の長生炭鉱と戦時中の朝鮮人労働者」の中で誤認とそれに関する補足がございましたので、以下で訂正させていただきます。

対象論文

李修京・湯野優子「宇部の長生炭鉱と戦時中の朝鮮人労働者」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系 I』第 59 集、平成 20 年 1 月発行。

参考サイト

<https://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/87636/2/18804314-59-06.pdf#search='長生炭鉱李修京'>

① 115 頁上から 1 行目～2 行目、訂正前→

現在では宇部の市民団体「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の働きかけにより炭鉱事務所地後に「長生炭鉱受難者之碑」が建てられ（1982年）、毎年、慰霊祭とフィールドワークが開かれている。

訂正内容→

現在では宇部の市民団体「長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会」の働きかけにより、毎年、慰霊祭とフィールドワークが開かれている。井上正人氏ら碑の建立に同意した日本人の名前を刻んだ“殉難者の碑”が建てられているが、「長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会」では国籍を問わず、183名全ての犠牲者の名前を刻んで追悼すべきだという趣旨から独自に長生炭鉱の水没事故犠牲者追悼碑建立に取り組んでいる。

② 118 頁の附記最後に補足する内容→

なお、本稿の結論で「長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会」が「殉難者の碑」を建立したと述べているが、同会とは趣旨が異なる誤認である。こちらの不手際で同会には大変ご迷惑をかけてしまったため、ここで 115 頁の誤認を修正するとともに、同会にはお詫びを申し上げる次第である。